

# 高真空ダイカスト金型用シールのご紹介

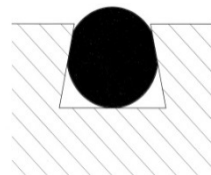
最近では、金型内の到達真空圧力を更に低くし、より高い製品品質を目指す高真空ダイカストの取り組みが始まっております。

高真空ダイカストは、金型のパーティングライン（型合わせ面）にシール材をはめ込み、金型合わせ面の密閉性を上げることが必要です。

そこで、当社では従来のシール材とは異なる、「**高真空ダイカスト金型用シール**」をご提案致します。

## 従来のシール材

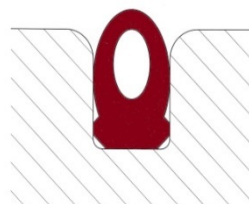
- ・金型のパーティング面には耐熱性Oリングが使われているが、丸いOリングを使用する為に、金型の合わせ面には、**アリ溝加工を施すことが必要となる**。
- ・逆テーパの八の字形状の**アリ溝加工は難しく、機械加工費も高い**。
- ・Oリングの潰し代を多くすると、**型締時に溝からOリングがはみ出し、潰れて破損する**。
- ・最大の弱点は耐熱温度で、一般に使用されているOリングの耐熱温度は、**200℃程である**。  
**耐熱温度300℃以上のOリングもあるが高価で頻繁に交換するため使われていない**。



(従来型)  
アリ溝とOリング

## 高真空シール材の特徴

- ・右図のようなナッツ状で、上部に**中空の穴**が空いている。
- ・耐熱温度は**MAX300℃**。
- ・金型合わせ面の溝は、アリ溝ではなく、通常のフライス加工で製作出来る単純な垂直溝形状であり、**機械加工が非常に簡単に出来る**。
- ・シールの潰し代は、1mmあり、潰れる個所は中空なため、溝からはみ出すことはなく破損しない形状となっている。



(新型)  
高真空シールと  
はめ込み溝

**→この高真空シール材を用いれば、金型の密閉性は上がり、高真空ダイカストに最適となります！**

※この高真空シール材は、高真空プラスチック射出成型金型用としても使用可能で、既に高真空プラスチック射出成型と高真空ダイカストの両方で使用されております。



高真空ダイカスト金型用シール



## 田辺工業株式会社

発売元：

名古屋支店 産業装置課

〒457-0821 愛知県名古屋市南区弥次丁町4丁目40番地

Tel：052-612-5020 Fax：052-612-5021

産業装置課 上越工場

〒942-0032 新潟県上越市大字福田14-1

Tel：025-544-5272 Fax：025-544-5025